

## 「膵がん・胆道がん教室」について

切除不能な膵がん・胆道がんと診断されて不安を感じている患者さんや、どのように介護をしたらよいかと悩んでいるご家族の皆様に、少しでも役立つ情報を提供するために、膵がん・胆道がん教室を行っています。

### なぜ、膵がん・胆道がんなのか？

膵がんと胆道がんは予後の非常に厳しい疾患であり、手術ができない患者さんの生存期間中央値はおよそ10ヶ月です(当院データ)。そのため、患者さんやご家族が安心して療養していただくためには、私たち医療者は単に医療を施しているだけでは、不十分と考えています。患者さんやご家族は様々な情報やサポートを求めており、これらのニーズに応えるためには院内の多くの職種が協力し合って、支援体制を築くことが必要と考えました。

### 「膵がん・胆道がん教室」の目的

「膵がん・胆道がん教室」の最大の目的は、“患者や家族の皆さまが、安心して充実した生活を送っていただくこと”にあります。そのためには、以下のことが重要と考えています。

#### 1. 【膵がん・胆道がんの原因や症状、治療法についての情報提供】

少しでも安心して療養していただけるように、病気や治療法についての多くの情報をなるべく正確にご紹介しています。

#### 2. 【受けられる介護やサービスについての情報提供】

当院ではがんに対する様々な治療法を提供していますが、患者さんによっては他の医療機関と連携しながら治療を進めたり、公的な介護サービスを受けたりしながら、日常生活を続けておられる方もいます。これらの具体的な内容や方法をご紹介します。

#### 3. 【私たちの活動を知っていただくこと】

医師、看護師、薬剤師、栄養士、心理療法士、ソーシャルワーカーなど多くの職種のスタッフがそれぞれの役割を分担しお互いに協力しながら、患者さんに少しでもお役に立てることを目指して働いています。教室を通じて多くの職員と顔なじみになり、私たちが支援できる内容を理解していただいて、患者さんが悩みや心配事を少しでも相談しやすくなることを目指します。

## 教室の概要

### 1. 入院患者・家族向け「膵がん・胆道がん教室」

これから治療を開始する予定、あるいは治療開始早期の患者さんやご家族を対象にした教室です。教室の進行はソーシャルワーカーや看護師が交代で行い、前半は医師、看護師、薬剤師、栄養士、MSW などの講師によるレクチャー（20 分程度）があり、後半は質疑応答とフリーディスカッションの時間（20 分程度）を設けています。毎週水曜日、19：00-19：45 に行っています。

### 2. 外来患者・家族向け「膵がん・胆道がん教室」

退院後、外来化学療法を継続する患者さんにご家族を対象にした教室です。がん看護専門看護師が外来化学療法を継続する際に重要な生活の工夫や、副作用対策、病院への緊急連絡のタイミングや方法、などをレクチャーし、患者さんやご家族にはその合間に自由に質問したり、体験談を話したりしていただきながら、がん看護専門看護師とソーシャルワーカーがそれらの相談に対応したり、傾聴しながら教室を進めています。

### 3. 特別企画 1：ご家族向け「膵がん・胆道がん教室」

ご家族のみを対象とした教室を、昨年 10 月に特別企画として実施しました。1) 家族によるサポートの方法を学ぶ、2) 家族のつらさを家族同士や家族とスタッフ間で共有する、3) 患者本人がいないからこそ話せる場所の提供をする、ことを目指しました。今後も 1～2 回／年程度、開催できればと考えています。

### 4. 特別企画 2：医療従事者向け「膵がん・胆道がん教室ワークショップ」

当院で教室開始後、現在数施設で類似の教室が開始され、その他の施設からも教室への関心が多く寄せられるようになってきました。各施設の現状や課題についての情報交換や、他領域の現状を学びながら、英知を結集してよりよい教室づくりを目指したワークショップを企画しています（2 月 26 日当院にて、15 施設参加予定）。